

2020年7月31日

上場会社名 京成電鉄株式会社
 コード番号 9009 URL <https://www.keisei.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 敏也
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部連結・受託課長 (氏名) 湯本 康人
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 047-712-7100

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	46,449	34.0	8,285		15,562		13,965	
2020年3月期第1四半期	70,367	10.0	10,386	8.8	15,377	8.4	11,415	6.2

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 14,641百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 10,950百万円 (6.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
2021年3月期第1四半期	82.78	
2020年3月期第1四半期	67.44	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	902,000	412,809	43.9
2020年3月期	905,716	428,664	45.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 395,614百万円 2020年3月期 411,030百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2020年3月期		8.50		8.50	17.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注)2021年3月期の配当予想については、未定としております。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症が業績に与える影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから、未定としております。今後、業績予想の合理的な算定が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	172,411,185 株	2020年3月期	172,411,185 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	3,704,406 株	2020年3月期	3,704,399 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	168,706,783 株	2020年3月期1Q	169,269,500 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P4
(1) 四半期連結貸借対照表	P4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P6
四半期連結損益計算書	P6
四半期連結包括利益計算書	P7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P8
(継続企業の前提に関する注記)	P8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P8
(セグメント情報)	P8
(追加情報)	P8
3. 補足情報	P9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」）の影響により、個人消費や企業収益が急速に悪化し、雇用情勢に弱さが見られるなど、極めて厳しい状況にあります。

このような状況の中で、当社グループは、お客様及び従業員への感染防止の措置を講じた上で需要動向を見ながら臨機応変に事業を運営しております。また、中期経営計画E4プランの基本方針である「グループ経営強化による収益拡大の確実な実現」、「安全かつ安心なサービスの提供」、「社会的要請に対応した経営推進体制の確立」に基づき諸施策を推進してまいりました。

しかしながら、感染症の世界的大流行による訪日外国人の激減に加え、外出自粛等による消費の急激な縮小等の影響を受け、営業収益は464億4千9百万円（前年同期比34.0%減）となり、営業損失は82億8千5百万円となりました。経常損失は、持分法投資損失の計上により155億6千2百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は139億6千5百万円となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

<運輸業>

感染症対策として、業界団体のガイドライン等に基づき、従業員のマスク着用、消毒及び換気等を実施いたしました。

鉄道事業では、安全輸送確保の取り組みとして、成田空港駅ホームドアの設置工事や東中山駅の耐震補強工事等を進めました。

大規模工事については、葛飾区内の押上線連続立体化工事において、京成立石駅の仮駅舎新設工事を開始いたしました。

営業面では、感染症の影響に伴う社会情勢を踏まえ、5月1日より、スカイライナーの一部運休を実施いたしました。また、押上・都営浅草線・京急線方面における成田空港アクセスの更なる利便性向上のため、4月より当面の間、スカイライナーの一部列車の青砥駅停車を開始いたしました。さらに、創立111周年を記念した記念乗車券を発売いたしました。このほか、7月からの成田空港発着航空便利用者を対象にスカイライナー券を500円で発売するキャンペーン及び京成全線1日乗車券の発売に向け、宣伝を実施いたしました。

バス事業では、感染症の影響に伴う成田空港発着航空便の運休・減便及び東京ディズニーリゾートの臨時休業等を踏まえ、高速バス路線を中心に一部路線において、運休・減便を実施いたしました。一方で、一般乗合バス路線においては、成田市内等で新規路線の運行を開始したほか、水戸市内で区間延長等を実施いたしました。

タクシー事業では、帝都自動車交通株式会社において、タクシー運転者を介さずに決済可能なセルフレジ型端末を導入し、お客様サービスの向上に努めました。また、タクシー事業者による有償貨物運送が特例的に認められたことを受け、京成タクシー松戸西株式会社等において、フードデリバリーサービスを実施いたしました。

しかしながら、感染症の影響を受けた外出自粛や訪日外国人の激減等により、営業収益は216億6千1百万円（前年同期比45.6%減）となり、営業損失は100億6千2百万円となりました。

<流通業>

緊急事態宣言の発出を受けた休業要請等を背景に、一部施設において営業を一時休止いたしました。感染症対策を講じた上で営業を順次再開いたしました。

百貨店業では、日立市の商業施設内において、3月にサテライトショップ「KEiSEI & sole」をオープンいたしました。

ストア業では、創業60周年を記念した大創業祭セールを実施し、収益の拡大に努めました。

ショッピングセンター業では、ユアエルム成田店において、6月に新規テナントを誘致してリニューアルオープンいたしました。

しかしながら、感染症の影響を受けた外出自粛等により、営業収益は138億8千1百万円（前年同期比19.6%減）となり、営業利益は2千7百万円（前年同期比89.7%減）となりました。

<不動産業>

不動産賃貸業では、2021年度のオープンを目指し、墨田区江東橋と墨田区押上において、「京成リッチモンドホテル」2号店、3号店の工事を推進しております。

不動産販売業では、今年度中に引き渡し予定の中高層住宅「サングランデ八王子」の販売を開始いたしました。

しかしながら、営業収益は55億3千万円（前年同期比32.7%減）となり、営業利益は20億8千3百万円（前年同期比19.1%減）となりました。

<レジャー・サービス業>

緊急事態宣言の発出を受けた休業要請等を背景に、一部施設において営業を一時休止いたしました。感染症対策を講じた上で営業を順次再開いたしました。

ホテル業では、京成ホテルミラマーレ、水戸京成ホテル及び京成リッチモンドホテル東京門前仲町において、テレワーク需要に対応するためのダイユースプランを開始したほか、京成ホテルミラマーレにおいて、千葉市内へのフードデリバリーサービスを実施し、顧客の獲得に努めました。

旅行業では、感染症の状況を考慮した上で、新しい商品の企画・催行を実施したほか、旅行カウンター「IUHW成田病院営業所」をオープンし、営業力の強化を図りました。

しかしながら、感染症の影響を受けた外出自粛等により、営業収益は12億4千5百万円（前年同期比46.9%減）となり、営業損失は6億7千6百万円となりました。

<建設業>

建設業では、鉄道施設改良工事や当社グループ外から受注している各種工事を実施いたしました。

以上の結果、営業収益は55億2千7百万円（前年同期比15.4%増）となり、営業利益は3億8千1百万円（前年同期比131.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は、前期末比37億1千6百万円（0.4%）減の9,020億円となりました。これは、持分法適用会社株式の減少により「投資有価証券」が減少したことによるものです。

負債合計は、前期末比121億3千8百万円（2.5%）増の4,891億9千万円となりました。これは、有利子負債が増加したことによるものです。

純資産合計は、前期末比158億5千4百万円（3.7%）減の4,128億9百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により「利益剰余金」が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、主に運輸業において、成田空港関連輸送の需要減等により、足元の業績は影響を受けております。緊急事態宣言及び外出自粛要請は解除されたものの、先行きが不透明な状況が続いており、現段階において、新型コロナウイルス感染症の収束時期や、成田空港関連輸送の需要回復等の見通しを予想することは困難であります。

従って、2021年3月期の連結業績予想については、引き続き未定としております。今後、業績予想の合理的な算定が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,084	39,183
受取手形及び売掛金	22,129	16,034
分譲土地建物	6,861	7,294
商品	2,187	2,199
仕掛品	799	1,208
原材料及び貯蔵品	3,053	3,088
その他	11,940	10,944
貸倒引当金	△27	△34
流動資産合計	74,027	79,917
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	290,454	287,532
機械装置及び運搬具(純額)	24,978	23,386
土地	180,720	182,936
リース資産(純額)	38,635	38,038
建設仮勘定	37,272	37,940
その他(純額)	3,284	3,113
有形固定資産合計	575,345	572,947
無形固定資産		
リース資産	1,214	1,175
その他	10,683	11,095
無形固定資産合計	11,898	12,271
投資その他の資産		
投資有価証券	226,131	216,007
長期貸付金	371	370
繰延税金資産	13,534	16,011
その他	4,313	4,321
貸倒引当金	△145	△146
投資その他の資産合計	244,204	236,564
固定資産合計	831,448	821,783
繰延資産	239	298
資産合計	905,716	902,000

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,147	11,391
短期借入金	55,832	56,459
コマーシャル・ペーパー	16,000	14,000
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
リース債務	6,442	6,466
未払法人税等	4,500	2,014
前受金	24,406	26,633
賞与引当金	3,409	2,433
役員賞与引当金	53	4
その他	33,273	29,732
流動負債合計	176,065	159,135
固定負債		
社債	50,450	60,450
長期借入金	128,276	147,872
鉄道・運輸機構長期未払金	46,518	46,518
リース債務	26,913	26,254
繰延税金負債	1,572	1,883
役員退職慰労引当金	358	284
退職給付に係る負債	35,600	35,577
その他	11,297	11,214
固定負債合計	300,987	330,054
負債合計	477,052	489,190
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,803	36,803
資本剰余金	28,365	28,365
利益剰余金	350,556	335,652
自己株式	△5,532	△5,532
株主資本合計	410,192	395,288
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,390	1,825
繰延ヘッジ損益	16	17
退職給付に係る調整累計額	△1,570	△1,516
その他の包括利益累計額合計	837	325
非支配株主持分	17,634	17,195
純資産合計	428,664	412,809
負債純資産合計	905,716	902,000

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
営業収益	70,367	46,449
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	50,313	45,853
販売費及び一般管理費	9,667	8,881
営業費合計	59,980	54,735
営業利益又は営業損失(△)	10,386	△8,285
営業外収益		
受取利息	34	61
受取配当金	231	151
雇用調整助成金	—	110
持分法による投資利益	5,230	—
雑収入	368	419
営業外収益合計	5,864	743
営業外費用		
支払利息	619	594
持分法による投資損失	—	7,120
雑支出	254	305
営業外費用合計	873	8,020
経常利益又は経常損失(△)	15,377	△15,562
特別利益		
工事負担金等受入額	92	216
特別利益合計	92	216
特別損失		
臨時休業による損失	—	304
固定資産圧縮損	66	167
固定資産除却損	67	82
特別損失合計	133	554
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	15,336	△15,900
法人税、住民税及び事業税	3,745	494
法人税等調整額	△324	△2,255
法人税等合計	3,421	△1,761
四半期純利益又は四半期純損失(△)	11,915	△14,139
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	500	△173
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	11,415	△13,965

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	11,915	△14,139
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△477	△341
退職給付に係る調整額	39	57
持分法適用会社に対する持分相当額	△527	△218
その他の包括利益合計	△965	△501
四半期包括利益	10,950	△14,641
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,451	△14,476
非支配株主に係る四半期包括利益	499	△164

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・ サービス業	建設業	その他 の事業			
営業収益									
(1) 外部顧客に対する 営業収益	39,552	17,176	6,861	1,655	3,950	1,169	70,367	—	70,367
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	257	86	1,353	692	838	734	3,962	△3,962	—
計	39,809	17,262	8,215	2,347	4,789	1,904	74,329	△3,962	70,367
セグメント利益	7,301	269	2,574	19	164	57	10,388	△1	10,386

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去及びのれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・ サービス業	建設業	その他 の事業			
営業収益									
(1) 外部顧客に対する 営業収益	21,565	13,744	4,287	932	5,063	855	46,449	—	46,449
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	95	137	1,243	313	463	555	2,808	△2,808	—
計	21,661	13,881	5,530	1,245	5,527	1,411	49,258	△2,808	46,449
セグメント利益 又は損失(△)	△10,062	27	2,083	△676	381	△28	△8,274	△11	△8,285

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去及びのれん償却額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(追加情報)

(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響)

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、主に運輸業において、成田空港関連輸送の需要減等により、足元の業績は影響を受けております。

当期の業績に与える影響については、収束時期等を予想することが困難なことから、2020年度中は当該影響が継続するものの、2021年度には感染拡大前の状況に戻ると仮定しており、固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性等の判断にあたっては、当該仮定による会計上の見積りを行っております。

なお、当該仮定は不確実性が高く、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化した場合は、連結財務諸表に重要な影響を与える可能性があります。

3. 補足情報

■連結損益計算書

単位: 百万円、%		2019/6 実績	2020/6 実績	増減	率
運輸業	営業収益	39,809	21,661	△ 18,148	△ 45.6
	営業利益	7,301	△ 10,062	△ 17,364	-
流通業	営業収益	17,262	13,881	△ 3,380	△ 19.6
	営業利益	269	27	△ 242	△ 89.7
不動産業	営業収益	8,215	5,530	△ 2,684	△ 32.7
	営業利益	2,574	2,083	△ 491	△ 19.1
レジャー・サービス業	営業収益	2,347	1,245	△ 1,102	△ 46.9
	営業利益	19	△ 676	△ 695	-
建設業	営業収益	4,789	5,527	737	15.4
	営業利益	164	381	216	131.4
その他の事業	営業収益	1,904	1,411	△ 493	△ 25.9
	営業利益	57	△ 28	△ 85	-
小計	営業収益	74,329	49,258	△ 25,071	△ 33.7
	営業利益	10,388	△ 8,274	△ 18,662	-
連結修正	営業収益	△ 3,962	△ 2,808	1,153	-
	営業利益	△ 1	△ 11	△ 10	-
連結	営業収益	70,367	46,449	△ 23,917	△ 34.0
	営業利益	10,386	△ 8,285	△ 18,672	-
営業外収益		5,864	743	△ 5,121	△ 87.3
営業外費用		873	8,020	7,146	817.8
経常利益		15,377	△ 15,562	△ 30,940	-
特別利益		92	216	124	134.0
特別損失		133	554	420	315.0
税金等調整前四半期純利益		15,336	△ 15,900	△ 31,237	-
法人税	法人税等	3,745	494	△ 3,250	△ 86.8
	同調整額	△ 324	△ 2,255	△ 1,931	-
	計	3,421	△ 1,761	△ 5,182	-
四半期純利益		11,915	△ 14,139	△ 26,055	-
非支配株主に帰属する四半期純利益		500	△ 173	△ 674	-
親会社株主に帰属する四半期純利益		11,415	△ 13,965	△ 25,380	-

新型コロナウイルス感染症の影響による減収額: 262億円

内訳: 鉄道事業109億円、バス事業73億円、タクシー事業32億円、流通業34億円、その他14億円

	2019/6 実績	2020/6 実績
営業外収益の主な内訳		
持分法による投資利益	5,230	—
営業外費用の主な内訳		
持分法による投資損失	—	7,120
支払利息	619	594
特別利益の主な内訳		
	2019/6 実績	2020/6 実績
工事負担金等受入額	92	工事負担金等受入額 216
特別損失の主な内訳		
	2019/6 実績	2020/6 実績
固定資産圧縮損	66	臨時休業による損失 304 固定資産圧縮損 167

Ⅰ主要セグメントの内訳

・運輸業

単位:百万円、%		2019/6 実績	2020/6 実績	増減	率
鉄道事業	営業収益	21,087	10,709	△ 10,378	△49.2
	営業利益	5,950	△ 4,271	△ 10,221	—
バス事業	営業収益	11,826	6,572	△ 5,254	△44.4
	営業利益	1,248	△ 4,088	△ 5,337	—
タクシー事業	営業収益	6,895	4,379	△ 2,516	△36.5
	営業利益	102	△ 1,702	△ 1,804	—
運輸業	営業収益	39,809	21,661	△ 18,148	△45.6
	営業利益	7,301	△ 10,062	△ 17,364	—

[参考]鉄道事業 輸送人員及び旅客運輸収入内訳表(単体)

単位:千人、百万円、%		2019/6 実績	2020/6 実績	増減	率
輸送人員	定期	44,792	32,447	△ 12,345	△27.6
	定期外	30,911	13,605	△ 17,306	△56.0
	内、空港発着	(5,555)	(1,549)	(△4,006)	(△72.1)
	内、有料特急	(1,571)	(174)	(△1,397)	(△88.9)
	計	75,703	46,052	△ 29,651	△39.2
旅客運輸収入	定期	5,512	4,175	△ 1,337	△24.3
	定期外	11,277	3,327	△ 7,949	△70.5
	内、空港発着	(5,434)	(730)	(△4,703)	(△86.6)
	内、有料特急	(1,493)	(122)	(△1,370)	(△91.8)
	計	16,790	7,503	△ 9,287	△55.3

(注)輸送人員:千人未満を四捨五入して表示しております。

旅客運輸収入:百万円未満を切り捨てて表示しております。

・流通業

単位:百万円、%		2019/6 実績	2020/6 実績	増減	率
ストア業	営業収益	9,275	8,868	△ 406	△4.4
	営業利益	89	116	27	31.2
百貨店業	営業収益	6,469	3,884	△ 2,585	△40.0
	営業利益	31	△ 152	△ 183	—
その他	営業収益	1,517	1,129	△ 388	△25.6
	営業利益	149	63	△ 86	△57.7
流通業	営業収益	17,262	13,881	△ 3,380	△19.6
	営業利益	269	27	△ 242	△89.7

・不動産業

単位:百万円、%		2019/6 実績	2020/6 実績	増減	率
賃貸業	営業収益	3,105	3,579	473	15.2
	営業利益	1,725	2,044	318	18.5
販売業	営業収益	3,887	641	△ 3,245	△83.5
	営業利益	782	△ 56	△ 839	—
管理業	営業収益	1,222	1,310	87	7.2
	営業利益	66	95	29	43.7
不動産業	営業収益	8,215	5,530	△ 2,684	△32.7
	営業利益	2,574	2,083	△ 491	△19.1

以上